

「少年の主張」弟子屈大会

平成29年度第37回「少年の主張」弟子屈大会が5月21日に町公民館で開催され町内各小中学校の児童生徒の代表が、目で見えて感じたことや体験して思ったことなどを、会場に訪れた多くの方々に語りかけました。最優秀賞には小学生の部で岡本朱夏さん(奥春別小学校5年)、中学生の部で神田幸成君(川湯中学校1年)が、それぞれ選ばれました。中学生の部最優秀賞の神田君は

7月26日に道立釧路高等技術専門学院で開催される「少年の主張釧路総合振興局地区大会」に出場します。

中学生の部 最優秀賞



父という存在
川湯中学校1年
神田 幸成 君

わいがつてくれていたそうです。そして、僕が一番うれしかったのは、父が入院していたにもかかわらず、僕が行ったら僕をだいて笑っていたということ。辛い入院生活のはずでしたが、そのようなことをしてくれていて、僕は父から、すこく愛されていたんだと思いま

た。私もいつか、この人のようになりたいたい、たくさんの人に、認められるような人になりたいと思いました。三つ目は、いろいろな人のけがや病気を治したいからです。私自身も感じたように、けがや病気は、とてもつらいものです。多くの人を、その苦しみから救ってあげたいと思います。看護師になる方法は、二つあります。一つ目は、高校を卒業して、専門学校に行く方法、二つ目は、看護短大、大学に通う方法です。卒業後は、看護師国家試験、保健師、助産師国家試験などを受験することができ、合格すると、病院、医療機関に就職することができます。看護師の主な仕事は、医師の補助、診療の援助、そして、看護や注射、点滴、ガーゼ交換などです。今は、高齢化社会と言われ、看護師の必要性が、今まで以上に高くなっています。以前は、看護師の仕事と言えば、「病院の中だけ」というイメージでしたが、今は、自宅への訪問看護や福祉施設での看護など、活躍の場がどんどん広がっているからです。また、医師不足も進んでいて、それに対応するため、これまで、医者が担当していた仕事の一部を

中学生の部 審査結果(敬称略)

最優秀賞	「父という存在」 (川湯中1年 神田 幸成)
優秀賞	「生きる幸せ」 (弟子屈中1年 宮田 奏海)
優良賞	「小さな一歩だが偉大な一歩」 (弟子屈中2年 林 歩夢)
参加奨励賞	「勇気を出して「ありがとう」を言いたい」 (弟子屈中1年 深井 朋香)
参加奨励賞	「私の分岐点」 (弟子屈中2年 大越 愛梨奈)
参加奨励賞	「目標の大切さ」 (川湯中2年 田本 亜樹斗)
参加奨励賞	「ありがとね。」 (弟子屈中3年 下谷 叶)
参加奨励賞	「みんなの支えに感謝して」 (弟子屈中3年 友善 みはる)
参加奨励賞	「殺される理由」 (川湯中3年 長谷川 晃生)

みなさんは、お父さん、お母さんに感謝していますか。それは、人それぞれだと思えます。ですが、物心ついた時から、僕には父がいまませんでした。僕の父は、1歳の時、今から12年ぐら前に亡くなりました。父は「急性骨髄性白血病」という病気でした。父は、抗がん剤治療、骨髄移植をし、二〇〇五年の三月から十月まで病気と闘っていました。ですが、突然、悪化し十月十一日に亡くなってしまいました。当然、僕は父のことを何も知りません。人から、どんな声だったか、など、何もわからないのです。ですが、今、父が生きていれば僕の人生は、大きく変わっていたと思います。僕の父は僧侶でした。川湯の慈光寺というお寺の副住職をしていました。父が生きていれば、僕もきつとお寺をついで僧侶になっていたと思います。今は、お寺とは関係のない生活をしているので、全く僧侶の世界についてはわかりません。ですが、父はつらい修業をし、僧侶に

なつたと思うので、僕は今でも尊敬しています。みなさんは、お父さんの仕事について考えたり、そうぞうしたことはありますか。皆さんが思っている以上に辛く、大変だと思えます。ですが、それは、家族のためなのです。僕は、父がいなくて、正直、さびしいと思ったことが何度もあります。それでも、「なぜ、父は亡くなったんだろう」とは考えないようにしています。それは、父が自ら命を絶つたわけではなく、運命だったからです。運命には逆らうことができません。なので、しょうがないこと、と自分自身に言い聞かせてきました。さきほども言ったとおり、僕は何も父のことを知りません。ですが、僕が生まれた時のこと、その後のことは、母から教えてもらいました。父は僕が生まれた時、とても喜んでいて、その後は、ミルクを飲ませてくれたり、おむつを替えてくれたり、毎日、お風呂に入れてくれたり、いろいろなことをしてくれて、かわいがつてくれていたそうです。そして、僕が一番うれしかったのは、父が入院していたにもかかわらず、僕が行ったら僕をだいて笑っていたということ。辛い入院生活のはずでしたが、そのようなことをしてくれていて、僕は父から、すこく愛

した。母は、父が亡くなって、まだ1才半だった僕を一人で育ててくれました。それは、とても大変だったし、不安だったと思います。ですが、「幸成のことはきちんと育てるから心配しないで」という約束を父としたそうです。ですから、母も父の存在があつて今まで、僕を育ててくれていたり、生きてこれたんだと思えました。母にはとても感謝しています。父は僕に二つのことを教えてくれたと思います。一つ目は家族の大切さです。家族が一人でも減ると、こんなにも辛いということを教えてくれたと思います。二つ目は、毎日を一生懸命に生きるということです。父は、病気になるまで一生懸命生きようとしました。なので、僕も一生懸命生きて、くいのないように過ごさないといけない、ということ、教えてくれたと思います。みなさんも、お父さんをはじめ、家族一人一人を大切に思い、その人が自分はどういうことをしてくれていたか、頭の中に入れておくといいと思います。また、家族は、誰一人いなくなつてはいけません。家族一人一人、自分の役割があります。それを、考えて行動することが、僕は大切だと思えます。これから先も僕にとつて亡くなった父は心の支えとしてずっと生き続けていくと思えます。そしていつの日か、大人になって家族ができた時、父の教えを僕が教えていきたいです。

小学生の部 審査結果(敬称略)

最優秀賞	「自分のしょう来のゆめ」 (奥春別小5年 岡本 朱夏)
優秀賞	「ぼくの将来の夢」 (美留和小6年 橋田 明)
優良賞	「今の子どもたち」 (川湯小6年 平田 夢菜)
参加奨励賞	「私の将来の夢」 (弟子屈小6年 高橋 菜奈)
参加奨励賞	「音楽で出来ること」 (弟子屈小6年 田中 佳恋)
参加奨励賞	「夢に向かって」 (和琴小6年 鈴木 琉生)



小学生の部 最優秀賞



自分のしょう来のゆめ
奥春別小学校5年
岡本 朱夏 さん

「病院の中だけ」というイメージでしたが、今は、自宅への訪問看護や福祉施設での看護など、活躍の場がどんどん広がっているからです。また、医師不足も進んでいて、それに対応するため、これまで、医者が担当していた仕事の一部を

看護師がすることが期待されています。つまり、これからは、今まで以上に専門知識を持った看護師が求められているということ。看護師の仕事は、体力的にも、精神的にも大変です。患者さんの命を預かる仕事なので、間違いが許されないという大きな責任もあります。でも、私は看護師になりたいです。大変な仕事ではありますが、多くの人の力になれるすばらしい仕事だと思います。だから、今からたくさん勉強をして、専門知識を持った看護師になりたいと思います。また、専門知識や技能を身に付けるだけではなく、私の手当てをしてくれた看護師さんのように、病気やけがをした患者さんを安心させられるような、すばらしい看護師さんになりたいです。人に安心感を与えられるようになるためにはどうしたらよいか。患者さんとの信頼関係を築くためにはどうしたらよいか。私は、人から言われたことだけを受け身でするのはなく、自分から進んでいろいろなことに挑戦し、多くのことを経験することが大切だと思います。また、自分のことだけを考えず、いつもまわりの人のことも考えること、人とのコミュニケーションを大切にし、人の喜び、痛みや苦しみに共感しようとする気持ちを持ち続けることができるようにしたいです。

みなさんには、しょう来のゆめがありますか。私は、看護師になりたいと思っと思っています。なりた理由は、三つあります。一つ目は、両親への恩返しです。私は去年、何度かけがをしてしまいました。そのたびに、親に病院に連れて行ってもらい、心配をかけてしまいました。だからこれからは、私がつまらなく、心配をかけるに安心させてあげたいと思っと思っています。二つ目は、看護師さんたちの働いている姿にあこがれ、尊敬しているからです。私がこれまでに会った看護師さんたちは、患者さんの様子から判断し、その場に応じて、冷静に対応していて、かっこいいなと思いました。私が去年、遊んでいたときにおでこをぶつけて病院に行ったときの看護師さんは、血を流して泣いていた私に優しく声をかけ、落着かせながら手当てをしてくれまし

た。私もいつか、この人のようになりたいたい、たくさんの人に、認められるような人になりたいと思いました。三つ目は、いろいろな人のけがや病気を治したいからです。私自身も感じたように、けがや病気は、とてもつらいものです。多くの人を、その苦しみから救ってあげたいと思います。看護師になる方法は、二つあります。一つ目は、高校を卒業して、専門学校に行く方法、二つ目は、看護短大、大学に通う方法です。卒業後は、看護師国家試験、保健師、助産師国家試験などを受験することができ、合格すると、病院、医療機関に就職することができます。看護師の主な仕事は、医師の補助、診療の援助、そして、看護や注射、点滴、ガーゼ交換などです。今は、高齢化社会と言われ、看護師の必要性が、今まで以上に高くなっています。以前は、看護師の仕事と言えば、「病院の中だけ」というイメージでしたが、今は、自宅への訪問看護や福祉施設での看護など、活躍の場がどんどん広がっているからです。また、医師不足も進んでいて、それに対応するため、これまで、医者が担当していた仕事の一部を

看護師がすることが期待されています。つまり、これからは、今まで以上に専門知識を持った看護師が求められているということ。看護師の仕事は、体力的にも、精神的にも大変です。患者さんの命を預かる仕事なので、間違いが許されないという大きな責任もあります。でも、私は看護師になりたいです。大変な仕事ではありますが、多くの人の力になれるすばらしい仕事だと思います。だから、今からたくさん勉強をして、専門知識を持った看護師になりたいと思います。また、専門知識や技能を身に付けるだけではなく、私の手当てをしてくれた看護師さんのように、病気やけがをした患者さんを安心させられるような、すばらしい看護師さんになりたいです。人に安心感を与えられるようになるためにはどうしたらよいか。患者さんとの信頼関係を築くためにはどうしたらよいか。私は、人から言われたことだけを受け身でするのはなく、自分から進んでいろいろなことに挑戦し、多くのことを経験することが大切だと思います。また、自分のことだけを考えず、いつもまわりの人のことも考えること、人とのコミュニケーションを大切にし、人の喜び、痛みや苦しみに共感しようとする気持ちを持ち続けることができるようにしたいです。